

# 『1367年から2017年宇宙の旅』

平野正喜（ひらのまさき）作 2017/8 ver.3.0

## 登場人物

- ・ 博士（55）男。光子学研究所教授。権威だが反主流。
- ・ 助手（30）男。博士の唯一の部下。志保に気がある。
- ・ 志保（25）博士の一人娘。幼いころに母を亡くしている。

## 時と場所

- ・ 2017年12月17日（日）
- ・ 夕暮れの光子学研究所の1室。
- ・ 机と椅子2脚（うち1脚はリクライニングして簡易ベッドになる）。
- ・ 机上にパソコン。

## 開幕

白衣姿の博士と助手がいる。

博士はPCに向かっており、助手は携帯電話に出ている。

助手 （電話に向かって）ですから、ベテルギウスです！オリオン座の。そう！冬空に見える赤い星です。それが昨日から4倍の大きさになっていると、世界中が気づいてしまったんです。特にアジアは雲が無かったので、ネットで画像が上がって、あっという間に世界中に。そうです、寿命なんですよ、あの星の。え？そんなことを光子学研究所に言われても困りますよ！ええ、どうぞ。

博士 （つぶやくように）距離は650光年、光の速さで650年かかる。2017年の650年前とすると1367年か。我々のはるか過去、室町時代、足利尊氏が没した頃のベテルギウスを見ているわけだ。650年の宇宙の旅を経て届いた光か。ロマンチックじゃないかね

助手 （電話を切って）博士。そんな呑気なことを言ってる場合じゃないですよ

博士 つまり、この膨張は650年前に起こったことだ。慌てても仕方あるまい

助手 ヨーロッパは雨だったので、肉眼では見えなかったはずですが、電子望遠鏡で観測したらすでに4倍になっていたそうです。アメリカ東海岸も雲が多くて助かりましたが、晴れてた西海岸はすでにパニックになってます。特にカリフォルニアは山火事が続いていて、燃える山から真っ赤な星が上がってきたと大騒ぎです。これがネットで拡散するのもあっという間でしよう。世界中がパニックに陥ります

博士 それで済めば良いがな

助手 爆発するとお考えですか

博士 するだろうね、ではなく、しただろうね。650 年前にな。星の寿命の最後の定めだ。地球にも大量のガンマ線が来るだろう

助手 え？最近の研究では、ベテルギウスの自転軸は地球に対して 20 度ずれているので大丈夫だと

博士 ガンマ線の放出は星の自転軸から 2 度の範囲内、か。ホントにそうかな

助手 そ、そんな。まあ、でも、ガンマ線だけなら影響は軽いでしょう

博士 ホントにそうかな

助手 え？

博士 ベテルギウスは近すぎる。爆発でガンマ線のバーストが起きていたら影響は計り知れんよ。純度 100%のオゾンホールができるかもしれんね

助手 そ、そんな

博士 観たまえ、さっきから既に冥王星の公転軌道に影響がでている

助手 え？

博士 冥王星から地球までは光でざっと 5 時間。ガンマ線の速度は光と同じとすると、冥王星からここまで 5 時間、つまり、もうすぐ来るか…

博士の娘・志保が入口から入ってくる。

志保 お父さん、観て欲しい数式があるんだけど

博士は PC から目を離して一瞥し、志保はレポート用紙の束を博士に渡す。

博士 急ぎかい？

志保 うん、急いだほうがいいのかも

博士 どれどれ

ドアの向こうから怒鳴りあうような声。

助手 ちょっと見てきます

助手はドアの向こうに姿を消し、すぐに慌てて戻ってくる。

助手 博士、大変です！変な連中がシェルターに避難させると押しかけてきてます！

博士 シェルター？あの物置のことか、やれやれ、私が会おう

博士はレポート用紙から目を離さぬまま立ち上がり、ドアを開けて出る。  
ドアを閉めたたたん

博士 おい！やめろ！ぐあーっ！（殴打音）

志保 どうしたの？

志保は慌ててドアを開けて外に出る。  
ドアを閉めたたたん、複数の殴打音

志保 やめて！キヤー（断末魔）

助手 どうしました？

助手も慌ててドアを開けて外に出る。  
暗転。  
明るくなると、簡易ベッドに博士が寝かされている。

助手 （沈痛に）博士、目を覚まされましたか

博士 ああ、あ、右眼が！右眼が開かない！

助手 残念ですが、暴漢どもに殴られたケガで…

博士 な、なんだと。ううむ。あ、いかん、こんなことやってる場合じゃない！何時間経った？

助手 半日です

博士 ベテルギウスはどうなった？

助手 博士のおっしゃった通りになりました。暴漢どもをなんとか押さえこんで、博士と志保さんを助け出したまさにその直後に、想定をはるかに超える強さのガンマ線が降り注いできたんです

博士 数値は？

助手 ダメでした。測定機器も情報網も破壊されてしまいましたので観測できません。最後に残された

データを予備の機器で解析したところ、ガンマ線の為にアジア上空のオゾン層が消滅して宇宙からのあらゆる光線、電波などのエネルギー波が地表に降り注いでいることがわかりました。もう、めちゃくちゃです

博士 何ということだ！では…

助手 はい、すぐに国立天文台の電子望遠鏡に応援を頼みましたが、そちらもダメでした。あまりに強いガンマ線の為、アジア中で精密機械の動作不良が発生しています

博士 あの時ベテルギウスの方を向いていた地域だけではないのか？

助手 わかりません、裏側だったオーストラリアのメルボルンに問合せようとしたのですが電話もメールも通じません

博士 そうか…

助手 博士もひどい失血でしたので、救急車を呼んだのですが、都内各地で巨星パニック状態だったところに、車の電子部品が故障ということで、1台しか来てもらえませんでした

博士 わかった、起こしてくれ！

助手が博士を起こすと、博士は出入口の方を見て、

博士 志保か、そんなところでどうした？

助手 え？どこにですか、志保さんはもう…

博士 どうした、入っただけで、なぜ返事をしない？

助手 博士、落ち着いてください。志保さんは博士をかばおうとして暴漢に頭を殴られて…（悔し泣く）

博士、ベッドに崩れ落ちる。

博士 死んだのか

助手 はい、なんと来てくれた救急車に乗せたのですが、医療機器も使い物にならず、助かりませんでした…

博士 信じられん、数式を持った姿そのままではっきり見える。緑内障が進んでるので、幻でも見えるのか

助手 せ、先生、緑内障ですか？そ、それでわかりました

博士 何がわかったんだね

助手 私は以前、眼科医を目指していましたので、緑内障は専門の一つです

博士 じゃあ、教えてくれ。なぜ私には半日前の志保の姿が見えるのだ？

助手 それは視野補完です

博士 補完？おぎなうという意味か？

助手 ええ。緑内障で視野が奪われると、人間の脳はそのことによるデメリットを解消しようとします。通常は両眼の視野の重ね合わせを用いて、片目が見えなくなった部分をもう片方の目で見て、得られた画像を奪われた視野に貼り込んで補完してくれるんです

博士 つまり、視野が奪われたことは本人にはわからないということか？

助手 はい。その通りです。自動的に行われますので

博士 うーむ、補完プログラムが仕込まれていて勝手に動き出すということなのだな。しかし、それとこれとは…

助手 通常なら、人間は1つのものを両目で同時に見ます。ですから、補完に用いられる画像はコンマ数秒前にもう一方の目で見たものです

博士 それはわかる、だが…あ！これは残像か？

助手 そうです。いわば残像です。博士が最後に見た志保さんの姿の映像が、緑内障で失われた視野を補完したんです

博士 しかし、それは次に見た景色によって上書きされてしまうはず…それが…ないのか！

助手 ええ、その通りです。博士の右眼は失明しましたので、補完に使える情報がありません。よって、直前に得た、志保さんの姿を含む画像が使われているのです

博士 やっとわかったよ…。ありがとう

助手 切ないですね

博士 ああ、あ、だが、こ、これは650、650光年…、そうかそういう意味か！

助手 え？

異音が聞こえてくる。

助手 見てきます！

助手はドアを開け、外を見に行き、あわてて叫びながら帰ってくる。白衣がボロボロになっている。

助手 博士、研究所が崩れ始めました！宇宙からのエネルギー線による物理ダメージも出始めたようです。ああ、もうダメだ！人類は滅亡です

博士 うろたえるな！まだ手はある！

助手 え？

博士 志保の数式だよ、あれはガンマ線バーストへの対抗策になる！志保はこうなる可能性を予知していたのだ！

助手 で、でも、志保さんのレポートもあの時暴漢たちにうばわれてしまいました、今、どこにあるのかわかりません

博士 大丈夫だ、ここにある

博士は自分のつぶれている目を指さす。

博士 この目に志保の姿と数式が完璧に残っている。私なら書ける。紙とペンをくれ。どうせコンピュータは使えまい

助手 はい博士！でも、どうするんですか、ここにはもうその数式を実装する手段がありません

博士 メルボルンの弓削博士に送るのだ。彼の研究施設が無事ならなんとかなる。ガンマ線バーストを中和し、オーストラリア上空のオゾン層も守られるはずだ！

助手 わかりました！

博士は痛みを耐えながら助手から受け取った白紙に数式を一気に書き上げる。

助手 あ、ダメです、博士！送る手段がありません！

博士 うろたえるな！電力が活きているのだから、アナログ線も活きている。シェルターに古いFAXがあるから、それを国際アナログ回線につなげ

助手 わかりました！

さらに異音が聞こえてくる。

博士 いよいよ崩れるかも知れん、逃げ

助手 まかせてください、志保さんの数式、絶対に伝えます！

博士 頼む

助手はドアを開けて去り、博士は痛みを耐えかねて簡易ベッドに崩れ落ちる。

博士 ベテルギウスから滅びが 650 年の旅を経て訪れたというわけか。しかし、志保の数式で人類は生き残る。そして、私の目には志保が見える。失われた視野が最後に見た美しい数式に補完されている。父として学者として、なんと幸せなのだろう。ありがとう…

FAX の送信音の後にすべてが崩れる轟音

暗転

幕

## 参考資料と注記

- ・ NHK 解説委員室 解説アーカイブス [くらし☆解説『爆発間近?!ベテルギウス』水野倫之](#) 2014年5月1日放送  
※ ベテルギウスからのガンマ線の放射は天文学的研究が進められていますが、本編の『(オゾン層の消滅による)宇宙からのエネルギー線による物理ダメージ』はフィクションです。また、光子学研究所もフィクションです。
- ・ 緑内障.com 緑内障の症状 <http://aosokohi.com/syoujou.shtml> (ほか)  
※ 『緑内障で欠損した視野が記憶により自動補完される』ことは既知の事実ですが、本編で用いている『自動補完された視野が失明により固定する』部分はフィクションです。医学的な根拠はありません。
- ・ 本作の著作権は平野正喜にあります。
- ・ 本作は有料ですが、上演・放送・出版・転載されない場合は、代金はいただきません。
- ・ 上演・放送・出版・転載される場合の料金は、ランドッグ・オーグ平野正喜事務所のウェブページ (<http://rundog.org>) をご覧ください。あるいは、日本劇作家協会にお問合せください。代金の支払いにより、脚本の使用を利用者に対し非専属的に許諾します。